

事務事業 No./名称	■サービス部門 生推一04 (仮称)川喜多記念館管理運営事業				タイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門				1397	(仮称)川喜多記念館管理運営事業
主管課	文化推進課		関連課	1398 (仮称)川喜多記念館管理運営事業		
分野名	文化					
目標 (目標値)	歴史を継承し、文化を創造するまち					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	—	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	—			
運営資源 状況	決算値	5,890千円	—			
	(国・県)		—			
	(負担金等)		—			
	(一般財源)		—			
	人員配置数	1.0人	—			
	人件費	9,593千円	—			
	協働の パートナー	—	—			
事務事業 運営経費	総事業費	15,483千円	—			
	市民1人当 りの経費	88円	—			
	対象者1人 当りの経費	—	—			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・適切な指定管理者を選定する必要がある。 ・記念館は平成22年4月に開館する予定である。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・指定管理者の選定に当たり、選定委員会を設け、審査方法を公募型プロポーザル方式により指定した。 ・記念館を平成22年4月に開館するための準備を行った。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・平成22年4月に開館する鎌倉市川喜多映画記念館の効率的な運営体制の確立と鎌倉の新たな文化発信の拠点としての質の高い事業展開の推進が求められる。 ・未完了となっている庭園の整備方針を具体化する。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・指定管理者と協議をしながら効率的な運営体制を確立するとともに、鎌倉の新たな文化発信の拠点としての質の高い事業展開を推進する。それにより、来場者数の目標値を達成するとともに、記念館の知名度を全国区のものとする。 ・庁内各課と連携を図り、未完了となっている庭園の整備方針を具体化する。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	開館して間もない施設であることから、施設運営を確実に推進するとともに、指定管理者と協議しつつ、市民の多様な要望を考慮し、記念館の資質の向上に努めていく。			評価結果	改善の必要性
A	無				A	無
課長名		青山 陽子		部名・部長名		生涯学習推進担当 植松 芳子